

○三重大学教育学部規程

(平成16年4月1日規程第234号)

改正	平成18年3月28日規程	平成18年5月10日規程
	平成19年1月10日規程	平成19年3月30日規程
	平成19年12月12日規程	平成20年3月31日規程
	平成20年10月1日規程	平成21年5月13日規程
	平成24年1月24日規程	平成25年3月29日規程
	平成25年11月26日規程	平成26年3月27日規程第234号
	平成27年3月31日規程第234号	平成28年3月30日規程第234号

目次

- 第1章 履修課程(第1条―第8条)
- 第2章 成績考査(第9条―第16条)
- 第3章 卒業(第17条)
- 第4章 卒業研究(第18条―第26条)
- 第5章 転入学、転学部及び編入学等(第27条―第36条)
- 第6章 科目等履修生及び特別聴講学生(第37条―第42条)
- 第7章 研究生(第43条―第45条)
- 第8章 担任大学教員(第46条・第47条)
- 第9章 留学(第48条)
- 附則

第1章 履修課程

(目的)

第1条 教育学部(以下「本学部」という。)は、教育に関する学識と専門的素養を身につけるための幅広いカリキュラムを通じ、人間の発達と教育に関する深い理解を基礎とし、教科と教職に関する専門的教育・研究を行うことで、適切な判断力、十分な実践的指導力、豊かな創造性を備えた質の高い教員を養成することによって、地域社会・国際社会の教育・文化の発展に貢献することを目的とする。
(課程及びコース)

第2条 本学部に、学校教育教員養成課程を設け、次のコース(専攻)を置く。

国語教育コース、社会科教育コース、数学教育・情報教育コース(数学教育専攻、情報教育専攻)、理科教育コース、音楽教育コース、美術教育コース、保健体育コース、技術・ものづくり教育コース、家政教育コース、英語教育コース、特別支援教育コース、幼児教育コース、学校教育コース(教育学専攻、教育心理学専攻)

(授業科目)

第3条 学部の授業科目は、教養教育科目及び専門教育科目とする。

(履修方法)

第4条 学生は、各コース(専攻)に応じ別表第1に定めるところにより単位を修得しなければならない。

2 教養教育科目に関する授業科目及び単位数については、別に定めるところによる。

3 専門教育科目に関する授業科目及び単位数については、別に定めるところによる。

(教育職員の免許)

第5条 学則第71条の規定による教員の免許状を受けるための所要資格を取得しようとする者は、別に定めるところにより、所定の単位を修得しなければならない。

2 前項の規定により、各コース(専攻)において取得することのできる教員の免

許状の種類は、別表第2に掲げるとおりとする。

(資格)

第5条の2 次に掲げる資格を取得しようとする者は、別に定めるところにより、所定の単位を修得しなければならない。

(1) 学芸員

(2) 保育士

(他の大学又は短期大学における授業科目の履修等)

第6条 学則第67条の規定により、学生が他の大学又は短期大学において特定の授業科目の履修を志願するときは、次の書類を提出しなければならない。

(1) 他の大学又は短期大学における授業科目の履修願

(2) 当該の大学又は短期大学が必要とする書類

第7条 前条の規定により願い出があった場合は、教授会の議を経て許可することがある。

第8条 前2条の規定により許可された者の修得した単位は、教授会の議を経て、60単位(学則第68条に規定する学修及び第69条に規定する認定による単位を含む。)を超えない範囲で卒業の要件となる単位として認めることができる。

第2章 成績考查

第9条 成績考查は、試験(又はレポート、論文)の成績及び履修の状況によって行う。ただし、演習、実技、実験、実習等は、平素の成績をもって試験に代えることができる。

第10条 定期試験は、前期、後期に各1回行う。期日は1週間以上前に掲示する。

第11条 成績は、10点満点をもって表わし、6点以上を合格とする。

第12条 受験資格のある者が、定期試験に病気、忌引その他止むを得ざる理由のため欠席した場合は、願い出により、教授会の議を経て当該科目の試験を1回限り行う(この試験を以下「追試験」という。)

2 追試験を出願しようとする者は、試験欠席届に診断書その他の証明書類を添えて試験終了後1週間以内に、学部長に届け出なければならない。

第13条 成績不良のため不合格の者には、願い出により当該科目の試験を1回限り行うことがある(この試験を以下「再試験」という。)

2 再試験を受験できるのは、1期間3科目6単位以内とする。

第14条 追試験及び再試験は、次期の冬季休業中及び夏季休業中に行う。ただし、卒業に当たる者については、卒業判定会議後3月10日までに行う。なお、前期末卒業に当たる者については、9月7日までに行う。

第15条 再試験の成績は、8点未満とする。

第16条 試験中に不正行為のあった者については、当期総単位を無効とする。

第3章 卒業

第17条 本学に4年以上在学し、所定の単位数を修得した者について、教授会の議を経て、所定の課程を修了したことを認定する。

2 学年末に卒業できなかった者については、卒業要件を満たした当該学期末に卒業させることができる。

第4章 卒業研究

第18条 卒業研究は、当該コース等で行うものとする。

第19条 卒業研究は、卒業論文、卒業演奏(卒業作曲を含む。)、卒業制作、卒業実験及び卒業ゼミナールのうちいずれかとする。

2 前項の卒業演奏については、演奏を記録した媒体を、卒業実験、卒業ゼミナールについては、報告書を作成しなければならない。

第20条 卒業研究の題目は、指導大学教員の承認を経て、卒業予定年度の後期履修

申告期間に、教育学部チーム学務担当(以下「学務担当」という。)に届け出なければならない。

第21条 卒業論文及び第19条第2項に規定する報告書は、所定の用紙を使用しなければならない。

第22条 卒業論文、卒業演奏を記録した媒体及び卒業制作は、卒業予定年度の1月20日(日曜日に当たる場合はその翌日、土曜日に当たる場合はその翌々日)までに、卒業実験、卒業ゼミナールの報告書は、卒業予定年度の2月13日(日曜日に当たる場合はその翌日、土曜日に当たる場合はその翌々日)までに学務担当に提出しなければならない。

第23条 卒業研究の審査は、2名以上の専任大学教員の審査員により行い、審査員の構成は、当該コース等において決定する。

第24条 卒業研究の成績は、10点満点をもって表し、6点以上を合格とする。

第25条 正当の理由なく卒業研究の成果を所定の期限までに提出しなかった場合は、不合格とする。

第26条 前期末卒業予定者のうち、卒業研究の審査を必要とする者は、卒業研究の題目を指導大学教員の承認を経て当該年度の4月末日(日曜日又は国民の祝日に関する法律に定める休日に当たる場合はその翌日、土曜日に当たる場合はその翌々日)までに学務担当に届け出るものとし、卒業研究の成果を8月10日(日曜日に当たる場合はその翌日、土曜日に当たる場合はその翌々日)までに学務担当に提出しなければならない。

第5章 転入学、転学部及び編入学等 (転入学)

第27条 他大学より本学部への転入学は、欠員のある場合学力検査の上、教授会の議を経て、許可することがある。

第28条 他大学より本学部への転入学を志願する者は、当該学長又は学部長を経て、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 転入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 単位修得証明書
- (4) 在学証明書

(転学部)

第29条 本学部への転学部は、欠員のある場合教授会の議を経て、許可することがある。

第30条 本学部への転学部を志願する者は、当該学部長を経て、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 転学部願書
- (2) 履歴書
- (3) 単位修得証明書
- (4) 在学証明書

第31条 学生が他学部への転学部を志願するときは、学部長に願い出なければならない。

第32条 削除 (コース変更)

第33条 コースの変更は、教授会の議を経て許可することがある。
(編入学)

第34条 本学部への編入学は、第2年次末に欠員のある場合学力検査の上、教授会の議を経て、許可することがある。

第35条 本学部への編入学を志願することのできる者は、次のとおりとする。

- (1) 大学卒業者及び卒業見込者
- (2) 大学の2年課程修了者及び修了見込者
- (3) 短期大学卒業者及び卒業見込者
- (4) 高等専門学校卒業者及び卒業見込者

第36条 本学部への編入学を志願する者は、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 編入学願書
- (2) 履歴書
- (3) 単位修得証明書
- (4) 卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書

第6章 科目等履修生及び特別聴講学生

(科目等履修生)

第37条 科目等履修生の入学資格は、教授会が、当該授業科目を履修する学力があると認めた者とする。

第38条 科目等履修生として入学を志願する者は、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 科目等履修願書
- (2) 履歴書

第39条 科目等履修生が、1学期に出願できる履修科目の総単位数は、8単位以内とする。

(特別聴講学生)

第40条 学則第102条の規定により、他の大学又は短期大学の学生で本学部特別聴講学生として入学を志願する者は、当該学長又は学部長を経て、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 特別聴講学生聴講願
- (2) 履歴書
- (3) 在学証明書
- (4) 成績証明書

第41条 特別聴講学生は、大学間の協議に基づき、60単位を超えない範囲で、本学部の授業科目を履修することができる。

第42条 特別聴講学生の入学は、教授会の議を経て決定する。また、入学の時期は、聴講科目が開始される学期始めとする。

第7章 研究生

第43条 研究生の入学資格は、次のとおりとする。

- (1) 大学卒業者
- (2) 短期大学卒業者
- (3) 高等専門学校卒業者
- (4) その他本学部で相当学力があると認めた者

第44条 研究生の研究期間は、6か月又は1か年とする。

第45条 研究生として入学を志願する者は、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 願書
- (2) 履歴書
- (3) 卒業又は修了証明書
- (4) 所属長の入学承諾書

第8章 担任大学教員

第46条 担任大学教員は、学生が、その資質と能力を十分に伸ばしうるよう、学生と人格的に接触し、学生生活について指導と助言を行う。

第47条 担任大学教員は、学部の専任の大学教員とする。

第9章 留学

(留学)

第48条 学則第49条の規定により、学生が外国の大学又は短期大学に留学を志願するときは、次の書類を提出しなければならない。

- (1) 留学願
 - (2) 当該の大学又は短期大学が必要とする書類
- 2 留学については第7条及び第8条の規定を準用する。
 - 3 留学期間は第17条の在学期間に含まれるものとする。

附 則

この規程は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年3月28日規程)

- 1 この規程は、平成18年4月1日から施行する。
- 2 平成17年度以前の入学者については、改正後の別表の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成18年5月10日規程)

この規程は、平成18年5月10日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則(平成19年1月10日規程)

この規程は、平成19年1月10日から施行し、平成18年4月1日から適用する。

附 則(平成19年3月30日規程)

- 1 この規程は、平成19年4月1日から施行する。
- 2 平成18年度以前の入学生については、改正後の規程第24条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成19年12月12日規程)

この規程は、平成19年12月12日から施行する。

附 則(平成20年3月31日規程)

この規程は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成20年10月1日規程)

この規程は、平成20年10月1日から施行する。

附 則(平成21年5月13日規程)

この規程は、平成21年5月13日から施行する。

附 則(平成24年1月24日規程)

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月29日規程)

この規程は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成25年11月26日規程)

この規程は、平成25年12月1日から施行する。

附 則(平成26年3月27日規程第234号)

- この規程は、平成26年4月1日から施行する。
- 平成25年度以前の入学者については、改正後の規程第1条の2、第2条及び別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成27年3月31日規程第234号)

- この規程は、平成27年4月1日から施行する。
- 平成26年度以前の入学者については、改正後の規程第3条、第4条及び別表第1の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則(平成28年3月30日規程第234号)

- この規程は、平成28年4月1日から施行する。
- 平成27年度以前の入学者については、改正後の規程第2条、第5条の2、第32条、別表第1及び別表第2の規定にかかわらず、なお従前の例による。

別表第1（第4条関係）

履修単位一覧
 国語教育コース，社会科教育コース，理科教育コース，音楽教育コース，美術教育コース，保健体育コース，技術・ものづくり教育コース，家政教育コース，英語教育コース

区分	教養教育 科目	専門教育科目				合計
		共通科 目	コース（専 攻）専門科目	自由選択科目	卒業研究	
初等 教育	34	66	26		4	130
中等 教育		34	58			

数学教育・情報教育コース(数学教育専攻)

区分	教養教育 科目	専門教育科目				合計
		共通科目	コース(専攻) 専門科目	自由選択科 目	卒業研究	
初等 教育	38	66	22		4	130
中等 教育		34	54			

数学教育・情報教育コース（情報教育専攻）

区分	教養教育科目	専門教育科目				合計
		共通科目	専攻専門科目	自由選択科目	卒業研究	
中等教育	38	30	46	12	4	130

学校教育コース(教育学専攻)

区分	教養教育科目	専門教育科目				合計
		共通科目	専攻専門科目	自由選択科目	卒業研究	
初等教育	34	66	22	4	4	130

学校教育コース(教育心理学専攻)

区分	教養教育科目	専門教育科目				合計
		共通科目	専攻専門科目	自由選択科目	卒業研究	

初等教育	34	66	24	2	4	130
------	----	----	----	---	---	-----

特別支援教育コース

区分	教養教育科目	専門教育科目				合計
		共通科目	コース専門科目	自由選択科目	卒業研究	
初等教育	34	55	28	9	4	130
中等教育		35	57			

幼児教育コース

区分	教養教育科目	専門教育科目				合計
		共通科目	コース専門科目	自由選択科目	卒業研究	
初等教育	34	58	27	7	4	130

別表第2(第5条関係)

取得することのできる教員免許状

コース（専攻）		免許状の種類（免許教科・領域）
国語教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（国語）
		高等学校教諭一種免許状（国語）
社会科教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（社会）
		高等学校教諭一種免許状（地理歴史）
		高等学校教諭一種免許状（公民）
数学教育・情報教育コース（数学教育専攻）	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（数学）
		高等学校教諭一種免許状（数学）
数学教育・情報教育コース（情報教育専攻）	中等教育	高等学校教諭一種免許状（情報）
理科教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（理科）
		高等学校教諭一種免許状（理科）
音楽教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（音楽）
		高等学校教諭一種免許状（音楽）
美術教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（美術）
		高等学校教諭一種免許状（美術）
保健体育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（保健体育）
		高等学校教諭一種免許状（保健体育）
技術・ものづくり教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（技術）
		高等学校教諭一種免許状（工業）

家政教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（家庭）
		高等学校教諭一種免許状（家庭）
英語教育コース	初等教育	小学校教諭一種免許状
	中等教育	中学校教諭一種免許状（英語）
		高等学校教諭一種免許状（英語）
特別支援教育コース		特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者， 肢体不自由者，病弱者）
幼児教育コース		幼稚園教諭一種免許状
学校教育コース（教育学専攻，教育心理学専攻）		小学校教諭一種免許状